

雄飛 yu-hi

2026年/春号

Vol.33



令和7年度 卒業証書・学位記授与式

令和8年3月20日(金・祝)に卒業式が行われました。

- ◇大学院(第32回) 78名
- ◇大学(第61回) 912名
- ◇短大(第65回) 129名

計1,119名が新たに同窓会正会員となりました。



令和8年度 合同入学式

令和8年4月2日(木)に入学式が行われました。

- ◇大学院(第34回) 93名
- ◇大学(第64回) 1,208名
- ◇短大(第67回) 106名

計1,407名が新たに同窓会学生会員となりました。



工学部先進工学科とデジタルメディア学部を2027年4月開設予定〈設置構想中〉

〈工学部改組〉 横断的な学びで変化が激しい予測不可能な時代で活躍する人材を育成
 母校の工学部は現在の4学科制(定員380名)から、先進工学科(仮称)1学科6コース制(定員460名)へ改組する構想を進めています。

新学科では、従来の4つの学問分野(電子情報工学、生命環境化学、知能機械工学、電気工学)に加え、地域ニーズの高い「半導体工学」と「建築デザイン」を新設し、計6コースを設置する予定です。この改組は、変化が激しく予測困難な時代に対応し、専門分野に加えて横断的な知識と汎用的能力を備えた実践型人材の育成を目的としています。1学科制の中で、コース横断科目や他コース開講科目の履修を可能にし、柔軟な学びが提供されます。

〈短期大学部改組〉 デザイン力と創造力を身に着けた実践型人材を育成

母校の短期大学部は情報系分野に特化した教育で、設立から現在に至るまで安定した入学者を確保してきました。そしてこのたび、産業界や国からの理系人材育成ニーズの高まりを受け、情報メディア分野の教育・研究・社会貢献機能をさらに強化するため、福岡工業大学デジタルメディア学部デジタルメディア学科(仮称、定員80名)として4年制学部へ発展的に改組することとなりました。

新学部では、急速に進化するデジタルコンテンツ市場に対応し、CG・ゲーム・サウンドなどの専門スキルを磨き、クリエイターとして活躍できる力を養成します。メディアデザインは社会情勢や人間心理など多様な要素を集約する領域であり、幅広い教養と専門性、高度な技術力が求められ、母校はこうしたニーズに応える教育体制を構築します。

なお、母校は文科省「大学・高専機能強化支援事業」(2025年度)に採択され、既存の短期大学部を4年制学部へ発展的に改組することに伴い、同短期大学部の2027年度以降の学生募集は停止しています。

2027年3月まで		
工学部	電子情報工学科	生命環境化学科
	知能機械工学科	電気工学科
情報工学部	情報工学科	情報通信工学科
	情報システム工学科	情報マネジメント学科
社会環境学部	社会環境学科	

2027年4月から		
工学部	NEW 先進工学科	NEW 半導体工学コース 建築デザインコース
		電子情報工学コース 生命環境化学コース
		知能機械工学コース 電気工学コース
情報工学部	情報工学科	情報通信工学科
	情報システム工学科	情報マネジメント学科
NEW デジタルメディア学部	デジタルメディア学科	
社会環境学部	社会環境学科	

※記載内容は予定であり、変更の可能性があります。

2025年度 課外活動実績報告



写真提供：ラグビー部

ラグビー部	第63回木元杯 九州セブンズ 優勝 なの花薬局ジャパンセブンズ2025 出場 令和7年度 九州学生ラグビーリーグ 優勝 第62回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 3回戦進出
吹奏楽団	第70回九州吹奏楽コンクール大学の部 金賞 第73回全日本吹奏楽コンクール大学の部 金賞 第51回九州アンサンブルコンテスト大学の部 金賞 第49回全日本アンサンブルコンテスト大学の部 金賞
女子柔道部	第33回九州学生女子柔道優勝大会3人制の部 第2位 2025年度全日本学生柔道優勝大会(女子34回) 出場
軟式野球部	令和7年度九州学生軟式野球連盟 春季大会 優勝 第48回全日本学生軟式野球選手権大会 準決勝進出
弓道部	第63回九州学生弓道選手権大会 女子団体 優勝 全日本学生弓道王座決定戦第49回女子の部 準決勝進出
モノづくりセンター ロボコンプロジェクト	第15回キャチロボバトルコンテスト 3位
モノづくりセンター ロボット相撲プロジェクト	全日本ロボット相撲大会 出場
モノづくりセンター 二足歩行ロボットプロジェクト	第28回ROBO-ONE Light 出場

部活動 PICKUP

弓道部

福工大弓道部は14名で活動し、年間を通して技術力および精神力の向上を目標に掲げ、日々の稽古に真摯に取り組んできた。少人数という環境の中で、一人ひとりの役割と責任は非常に大きく、全員が主体的に行動することが求められた。そのため、部員同士のコミュニケーションを重視し、射形や的の中に関する課題について積極的に意見交換を行いながら、互いに指導し合う体制を築いてきた。特に、弓道において基礎となる動作の徹底を重視し、正確で安定した射を実現するための反復練習を継続して行った。また、日々の稽古だけでなく、大会や練習試合にも積極的に参加し、実戦経験を重ねることを重視した。試合の場では、普段の練習とは異なる緊張感の中で自分の力を発揮する難しさに直面することも多かったが、その都度結果を振り返り、課題を明確にすることで次の練習へとつなげてきた。こうしたサイクルを繰り返すことで、個々の技術力向上に加え、試合における対応力や精神的な強さも養われていった。さらに、少人数であることを強みと捉え、部員同士が互いに支え合いながら成長できる環境づくりにも力を入れてきた。練習内外において積極的に声を掛け合い、課題だけでなく成功体験も共有することで、チーム全体の士気を高めることができた。その結果、部員間の信頼関係が深まり、団結力のある組織へと発展した。こうした日々の地道な取り組みの成果として、第63回全九州学生弓道選手権大会において優勝という結果を収めることができた。この優勝は、個々の努力の積み重ねはもちろんのこと、チームとして同じ目標に向かい続けた結果であり、部員全員で勝ち取ったものである。また、この経験は大きな自信となると同時に、さらなる高みを目指すための新たな課題を見出す機会ともなった。加えて、日々の活動においては技術面だけでなく、礼儀や規律といった弓道の本質的な側面も重視してきた。挨拶や所作、道場での振る舞いに至るまで意識を高めることで、人としての成長にもつなげてきた。これにより、競技力の向上だけでなく、部としての在り方や姿勢にも一貫性が生まれた。以上のように、福工大弓道部は14名という少人数の中で互いに高め合いながら活動を続け、技術面・精神面の両面において大きな成長を遂げることができた。今後もこれまでの経験と成果を糧に、さらなる高みを目指して精進していく。



弓道部 主将

矢作 渉大 (社会環境学部 社会環境学科 3年)



軟式野球部

私たち軟式野球部は、週2回の活動で現在は4年生5名、3年生4名、2年生4名、1年生10名、マネージャー7人の30名で活動しており、学年を超えて活気のある雰囲気の中で活動しています。

大会にも積極的に参加しており、令和7年度九州学生軟式野球連盟春季リーグ戦では優勝を果たし、出場した第48回日本学生軟式野球選抜大会では全国ベスト4という成績を収めることができました。昨年の全国大会では、初戦敗退という悔しい結果に終わっており、その悔しさを糧に日々の練習に取り組んできました。大会本番でもミスが出た場面もありましたが、互いにカバーしあいチーム全員で勝利をつかむことができました。一方で、秋季リーグは予選敗退となっており悔しい結果となりました。全国大会への出場は同窓会や学生課の皆様のご支援によって実現されたものであり、心より感謝しています。

今後もその気持ちを忘れず、さらに良い結果を目指して部員一同精進して参ります。

軟式野球部 主将

森下 謙信 (情報工学部 情報マネジメント学科 3年)

第58回立花祭 実施報告

みなさん、こんにちは。学生自治会 会長の小湊です。

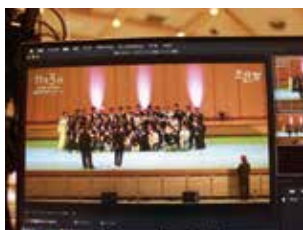
第58回立花祭は、多くの方々にご来場いただき、無事に終えることができました。協賛・渉外企業のご協力、広報活動の拡大により、立花祭は年々活気を増していると感じています。学内の文化系サークルの展示や音楽系団体のステージ発表も好評をいただき、来場者の皆さまから多くの温かい声をいただきました。ご協力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

また今年も、会場を彩るイルミネーションの設置やホームページのリニューアル、アーティストライブの開催など、新たな取り組みにも挑戦し、これまで以上にバージョンアップした立花祭をお届けすることができました。

今後もより魅力ある立花祭を目指して取り組んでまいります。

学生自治会 会長

小湊 定宗 (情報工学部 情報通信工学科 3年)



卒業生交流イベントを開催しました！

雄飛会では、昨年11月3日(月・祝)に「卒業生交流イベント」を開催いたしました。令和5年度にスタートした本イベントは、今回で3年目を迎えました。

会場では、前回好評だった卒業アルバムの閲覧コーナーや談話スペースに加え、新たに「母校の歴史がわかる写真展示」を実施しました。展示を眺めながら学生時代を懐かしむ方や、卒業アルバムの中に自分や友人の写真をを見つけ「若い!」と盛り上がる方、近況報告に花を咲かせる方など、会場のあちこちで笑顔が見られました。また、キャンパスツアーも前回に引き続き実施し、変化した校舎の姿を楽しみました。

当日は、20代から80代まで幅広い世代の卒業生・在学生・一般の方々、合わせて60名超にご来場いただきました。遠くは関東や沖縄から駆けつけてくださった方もおられ、改めて絆の深さを感じる一日となりました。

アンケートでは約7割の方から「満足」「大変満足」との評価をいただき、「今後も継続してほしい」という期待の声や、屋台・講演会の実施といった貴重なご提案も頂戴しました。皆様からいただいた声を励みに、次回開催に向け、より魅力的な交流の場を目指してまいります。

卒業生の皆様、次回もぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。



【ご報告】 母校へスクールバス購入費用を寄附いたしました。



母校における教育・研究活動やクラブ活動の活発化に伴うスクールバスの利用増を受け、このたび新たに2台の車両が導入されました。

雄飛会では、「在学生の教育活動および課外活動の支援を通じて母校の発展に寄与すること」を目的の一つに掲げており、今回の導入がその目的にかなうものであることから、同窓会より購入費用の一部を寄附いたしました。

本寄附にあたっては、各支部・本部の皆様からも多大なるご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

新しいバスが、学生の日々の諸活動を支える足として広く活用されることを期待しております。

母校が所蔵する 歴代 PC コレクション

富士通 MICRO 8



1979年発売の富士通MICRO 8は、国産8ビットパソコンの草分け的存在。CPUにIntel 8080A互換プロセッサを採用し、RAMは最大48KBまで拡張可能。BASICによるプログラミング教育や制御実験に用いられました。CRT表示装置やテープ装置を接続できるモジュラー構成で高い拡張性を持ち、主に教育機関や企業技術者向けに供給され、価格は基本構成で約50万円です。日本における教育・研究用パソコンの先駆的モデルでした。

Apple II Plus



1979年発売のApple II Plusは、Apple IIの改良版として登場した8ビットPC。CPUにMOS 6502 (1MHz)、標準48KB RAM (最大64KB) を搭載。拡張スロットによりDisk IIやプリンタなど多様な周辺機器に対応。Microsoft製AppleSoft BASICで浮動小数点演算を可能にし、教育・ビジネス・科学分野で活用されました。カラー表示や音源機能も強化され、世界的に人気を博し、発売価格は米国で約1,195ドル、日本で約30万円です。拡張性と操作性に優れた名機でした。

事務局からのご案内

1. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社や出版社が同窓会の名を騙り、募金・名簿などの勧誘を行っているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして、必ず文書でお願いしております。従って、上記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら感知しておりませんので、ご注意ください。なお、同窓会全体名簿は平成11年以降発行しておりません。

2. 異動の連絡について

交流会案内などが皆様のお手元に届くために、住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などがございましたら、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。異動のご連絡は、同窓会HP (<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>) の『住所変更フォーム』から行うことができます。住所変更フォームがご利用できない場合は、メールまたはFAX、ハガキでも受け付けております。

3. その他

就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、そのほかお問い合わせなどございましたら、同窓会事務局までメールにてご連絡をお願いいたします。

4. 「FIT MUSEUM」閉館のお知らせ

令和7年度をもちまして、FIT MUSEUM事業を終了するにあたり、「FIT MUSEUM (音とモノづくりの歴史資料館)」を令和8年3月31日(火)に閉館いたしました。これまでご来館いただいた皆様に心からの感謝を申し上げます。



住所変更フォーム QRコード

編集後記

昨年度は同窓会制度が新しくなりましたが、次年度には大学の組織も変革を迎えます。大学の改組に伴い、いろいろとご尽力を賜ることがあるかと思いますが、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。(企画・広報部)

発行 一般社団法人 雄飛会
(福岡工業大学同窓会) 会報

vol.
33

〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1

TEL/FAX 092-608-5982

E-mail dousoukai@fit.ac.jp

URL <http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>

